

# 経営比較分析表

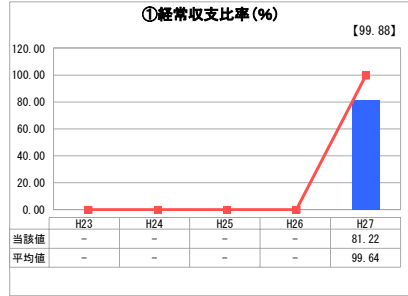
熊本県 合志市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	65.55	3.62	110.10

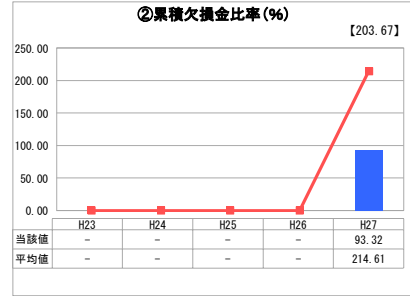
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
59,702	53.19	1,122.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,170	1.25	1,736.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

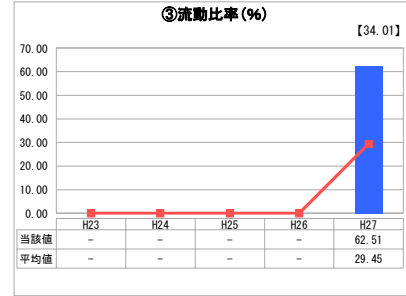
## 1. 経営の健全性・効率性



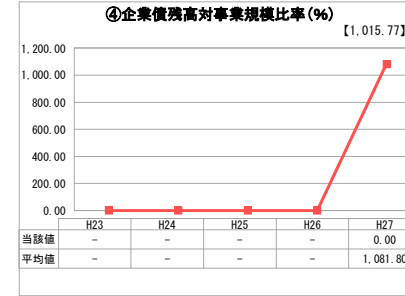
「経常損益」



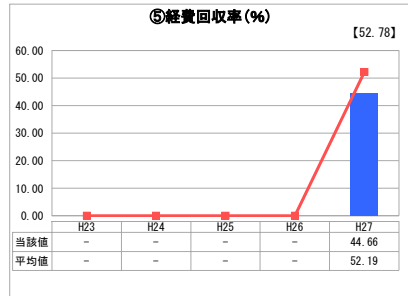
「累積欠損」



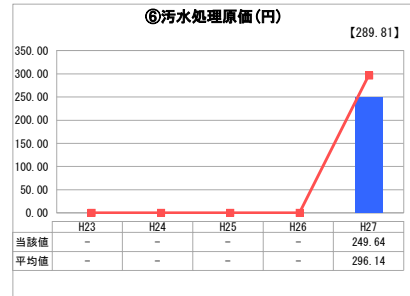
「支払能力」



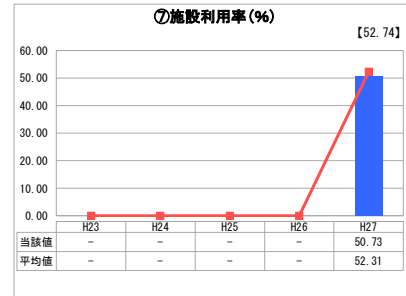
「債務残高」



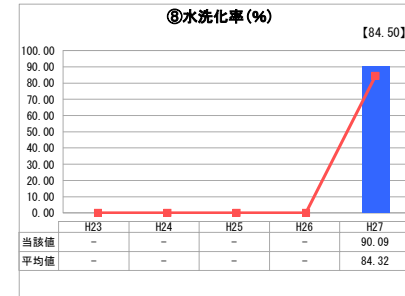
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

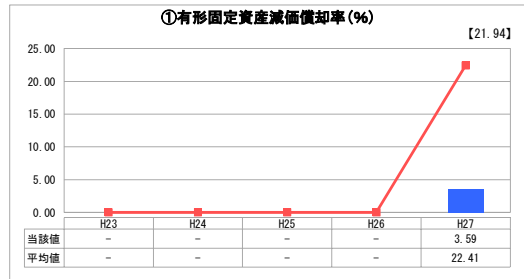


「施設の効率性」

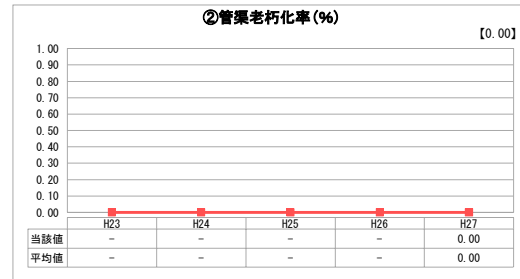


「使用料対象の捕捉」

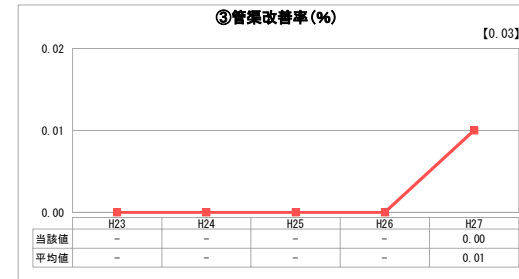
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率等の改善  
平成27年度から地方公営企業会計移行に伴い前年度値はない。経常収支比率は81.22%で単年度赤字であり、一般会計からの繰入金に依存している割合が高い。経費回収率も低いため、適正な料金設定を早急に検討する必要がある。施設の老朽化のため、改築更新が必要となり、重要度を選択し計画を見直す。

### 2. 老朽化の状況について

平成12年の供用開始から16年を経過しており、施設の老朽化が進んでいる。平成28年度より、管路調査で更新すべきと判断した管渠(市内合計約800m)等については設計測量、更正を順次行い、点検・調査を実施している。

### 全体総括

経費回収率は低い状況にあるが、水洗化率は90%を超えており、回収率の上昇のためには、適正な料金設定の見直しが必要となる。事業の目的、規模を考えると料金改定での回収率向上には限界があり、将来的な一般会計からの繰入金額の適正な設定を含めて、改善を図る必要がある。併せて、施設の統廃合を考慮した効率的な計画を策定していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。